

まきはら

槇原小学校 学校だより

2021年度 No.3

令和3年6月25日発行

柏崎市春日3丁目4番31号

TEL 0257-22-4090

「差別の正当化」を考える

6月20日付の新潟日報に【「感染者探し」に違和感】という記事が載っていました。

内容の概略です。一つ目は、新型コロナウイルスに感染した児童が確認された小学校において、保護者同士が児童の実名を挙げながらLINEをやり取りし、感染者探しをするというケースです。感染者探しをする理由は、「いじめが起こらないか心配だから」「みんなで思いやらなくてはいけないから」というもの。「誰が感染したか分からなければ、いじめは起きないし、知る必要があるのかな」と返すと「優しい～」という皮肉に感じる返信。自分が感染者なら、感染したことを人に知られたくないので、感染者探しに違和感を覚える、という体験談でした。また、もう一つのケースは、感染者が確認された高校の近くのスーパーに行くことに不安を感じる。しかし、「感染者が出た場所に近づかないようにしよう」と言うのも差別になる。不安の裏には差別の気持ちが潜み、不安が募るほど、自然と差別を正当化しているかもしれない、という体験談です。

新型コロナウイルスの感染拡大が未だ収束に向かわない今現在、感染に対する警戒心を持ち続けることは重要です。例えば、感染者とは接しないことが感染防止の鉄則ですし、感染者の触れたものは消毒をすることも必要です。しかし、治癒した人やその家族を仲間はずしにすることは差別以外の何ものでもありません。また、犯人探しをするように、感染者を特定しようとする行為は、差別と偏見の助長につながります。そのような行為が差別や偏見を正当化していることにつながっている場合があることを私たちは自覚する必要があります。

濃厚接触者となる可能性がある場合には、関係機関からきちんと連絡が入ります。それが無ければ感染の可能性は低いと考えられます。落ち着いて日常の生活を営むことが大切です。また、身近に感染者が確認された場合は、真心と思いやりをもって、温かく包み込むことが、人としてあるべき姿と考えます。



この記事の終わりに新潟青陵大学大学院の碓井真史教授の言葉が載っています。

「感染はいずれ収まる。でもその後、気付いたら隣の県とすごく仲が悪くなっていたり、会社内で社員がいがみ合うことになっていたりしたら危険だ。人間関係が『雨降って、地固まる』。それが新型コロナウイルスに勝利することだ。」

(校長 野崎 真二)

水泳学習が始まりました

学年部ごとに水泳学習が始まりました。昨年度は新型コロナウイルス対応で実施しなかったため、2年ぶりということになります。最近の水泳学習は、泳げる距離を伸ばすとかタイムを縮めるといった目的よりも、「命を守るため」という意味合いが強くなってきています。万が一の際に、自分で自分の命を守ることができるようになることを意識して学習を進めます。

なお、お子さんが水泳が苦手な場合は、自宅のお風呂での練習に御協力ください。頭からお湯をかぶるだけでも練習になりますよ。



全校 SST(ソーシャルスキルトレーニング)を行いました

6月22日(火)に全校 SST を行いました。この活動は、相手を尊重する心や思いやりの心をはぐくみ、子どもたちのかかわる力を高める活動を通して、好ましい人間関係を構築することをねらいとしています。

今回の内容は SST エクササイズ「お店屋さん」です。やり方は、6年生が八百屋、パン屋などお店の種類を決め、次々に商品名を言っていきます。他の児童は、商品名が決めたお店に売っている物なら「はい、はい」と言いながら2回拍手をし、売っていないものなら手で×をつくります。6年生がリーダーシップを発揮しながら楽しくエクササイズを進めました。一人一人がみんなの前で声を出したり、互いに盛り上げたりすることで絆を深めることができました。



<7月の主な行事予定>

1日(木)	全校朝会	3年, 4年校外学習	16日(金)	市民一斉避難訓練
5日(月)	委員会		20日(火)	課外音楽部発表会
6日(火)	七夕集会		21日(水)	休業前集会
7日(水)	5年校外学習		22日(木)	海の日
9日(金)	学習参観、学年 PTA		23日(金)	スポーツの日
12日(月)	スクールカウンセラー来校 クラブ		27日(火)	絆づくり会議
13日(火)	代表委員会	4年校外学習		
14日(水)	4年はまなす交流会		7月24日~8月23日	夏休み

